

スリランカ災害地支援報告 ①

258名の子どもたちが 「心のケア」キャンプに参加

2002年に停戦合意が結ばれ、平和への道が歩み始めたスリランカに、自然の猛威が襲いかかりました。2004年12月26日に起きたスマトラ沖地震・津波により、スリランカでは4万人に及ぶ人々が犠牲となり、約80万人の人々が家を失ったのです。



大阪YMCAは1995年以来、スリランカYMCAと協働で、内戦により苦しめられた子どもたちへの心のケアを実施してきました。この直後の惨事でも、その直後の惨事でも、この惨事を受け、日本YMCA同盟、大阪YMCAのスタッフが2月に現地を訪れ、どのような支援協力ができるかを検討してきました。その中で提案されたことの一つが、これまで「Love & Affection Camp」で培った経験を生かした心のケアを目的としたキャンプの実施でした。

全国から寄せられたスマトラ沖地震・津波被害に対する支援金により、被害を受けた子どもたちを対象とした「Cross Region Camp for Hope」が4月、6月に2回ずつ、そして日本より18名のユースリーダーが派遣された「National Camp for Hope」が8月に実施されました。これらの心のケアキャンプにスリランカ全土より計258名の子どもたちが参加しました。

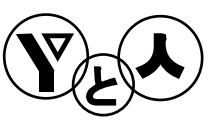
日本全国から集結した18名のユースリーダーたちは、「私たちは子どもたちの輝く未来への架け橋となります」というスローガンのもと、子どもたちに思いを馳せ、入念な準備を行い、出発しました。そしてスリランカで子どもたちの星のように輝く無数の笑顔に出会ったのです。

※スリランカ災害地支援報告は今回を含め3回にわたりお伝えします。

六甲山YMCA 「モーセ像」リニューアル ボランティアで修復

六甲山YMCAの入り口に向かう道の右側に、大きな「モーセ像」があります。この像は1988年、奈良シルクロード博のメインオブジェとして特別に造られた3体の内の一つで、1999年に住江織物株式会社より六甲山YMCAに寄贈されました。

ボランティアを始めました。ボランティアを始めてから、すでに10日くらい経ってしまつて、「工具やペンキなど初めて使うものばかり。試行錯誤を繰り返しての修復作業だ」とのこと。でもその中で六甲山YMCAを訪れる方との出会いや交流があり、あつと言う間に時間は過ぎたそうです。



今夏、大阪YMCAで一ヶ月間スタッフ研修を受けられた台北YMCAの謝偉傑さんにお話を伺いました。

「広い敷地と施設の多様に驚きました。台北の幼稚園の多くはビルの中にあり、授業形式の活動がほとんどです。それと

台北YMCAでは高齢者を対象としたプログラムが充実し、幅広い年齢層の方々がYMCAに関わっていますね。」と感想

を述べられました。現在、台北YMCAには一名の大阪YMCAスタッフが共に働いていますが、彼の指導を通して

は、「大阪YMCAのスタッフは同じ意識を持って人に関わっているという印象を受けました。今回の研修で出会ったスタッフすべてが心温かく、親切に接してください」と、多くの写真を見せながら語って下さいました。

「へたでも、全然知らないことでも、一歩踏み出して、何にでも挑戦してほしい。」との思いから、この

「モーセ像」の修復に取り組んでいただいている明智日奈子さんと和田愛さんにお話を伺いました。

すればきつと元気になれるはず」と、笑顔いっぱいになるまでかわいそうだから」と修復途中の「モーセ像」を見ることができませんでした。



台北YMCA 謝偉傑さん
夢は来年の阿南キャンプにメンバーを連れて参加すること

「現在、台北YMCAには一名の大阪YMCAスタッフが共に働いていますが、彼の指導を通して

は、「大阪YMCAのスタッフは同じ意識を持って人に関わっているという印象を受けました。今回の研修で出会ったスタッフすべてが心温かく、親切に接してください」と、多くの写真を見せながら語って下さいました。

「モーセ像」の修復に取り組んでいただいている明智日奈子さんと和田愛さんにお話を伺いました。

すればきつと元気になれるはず」と、笑顔いっぱいになるまでかわいそうだから」と修復途中の「モーセ像」を見ることができませんでした。

このあと六甲山YMCAの委員でもある鈴木良洋さんのご協力により、大門慎二さんが仕上げ作業を行い修復作業はすべて完了しました。きれいになった「モーセ像」をご覧に秋の六甲山YMCAへお越しください。

大阪YMCAと台北YMCAは1984年3月にパートナーシップを結び、それ以降大阪YMCAからのリーダー派遣やスタッフ、日本語講師の出向、そして台北YMCAからのスタッフ研修の受け入れなど人的な交流を深めています。研修の初めにYMCA松尾台幼稚園を訪れた謝さん。

「広い敷地と施設の多様に驚きました。台北の幼稚園の多くはビルの中にあり、授業形式の活動がほとんどです。それと

台北YMCAでは高齢者を対象としたプログラムが充実し、幅広い年齢層の方々がYMCAに関わっていますね。」と感想

を述べられました。現在、台北YMCAには一名の大阪YMCAスタッフが共に働いていますが、彼の指導を通して

は、「大阪YMCAのスタッフは同じ意識を持って人に関わっているという印象を受けました。今回の研修で出会ったスタッフすべてが心温かく、親切に接してください」と、多くの写真を見せながら語って下さいました。

「モーセ像」の修復に取り組んでいただいている明智日奈子さんと和田愛さんにお話を伺いました。

すればきつと元気になれるはず」と、笑顔いっぱいになるまでかわいそうだから」と修復途中の「モーセ像」を見ることができませんでした。

このあと六甲山YMCAの委員でもある鈴木良洋さんのご協力により、大門慎二さんが仕上げ作業を行い修復作業はすべて完了しました。きれいになった「モーセ像」をご覧に秋の六甲山YMCAへお越しください。



写真(右)は修復前、(左)は修復後のモーセ像